

【症例10】

- 年齢 70歳
- 性別 女性
- 採取部位 右耳下腺腫瘍
- 採取方法 穿刺吸引細胞診
- 標本作製方法 直接塗抹

- 現病歴：数年前より右側頬部の腫脹に気付いていたが変化がなかったため放置していた。最近になって歯科治療にて腫脹が増大した気がするとの事で当院を受診した。触診で境界明瞭な腫瘍を認めた。MRI検査ではT1強調像にて低信号，T2強調像にて低信号と高信号が混在した像を呈した。

第一選択： ミラノシステム診断区分

1. 不適正
2. 非腫瘍性
3. 意義不明な異型 (AUS)
4. 良性腫瘍
5. 良悪性不明な腫瘍 (SUMP)
6. 悪性疑い
7. 悪性

第二選擇： 推定組織型

1. 富細胞性多形腺腫
2. 筋上皮腫
3. 基底細胞腺腫
4. 腺樣囊胞癌
5. 多型腺癌